

## 2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	地域在宅看護論実習 I	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	45 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2学年	学期及び曜時限	前期	教室名	各実習施設
担 当 教 員	中辻友華	実務経験と その関連資格	病院等で計14年勤務 介護支援専門員 看護師		
《科目目標》					
地域での療養を継続するために必要な支援の実際を学ぶ。					
《成績評価の方法と基準》					
【評価方法・基準】在宅看護論実習 I の評価表に基づき評価する。 優:80点以上、良:70点以上80点未満、可:60点以上70点未満、不可:60点未満					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
ナーシンググラフィカ 在宅看護論① 地域療法を支えるケア メデイカ出版 ナーシンググラフィカ 在宅看護論② 地域療法を支える技術 メデイカ出版 公衆衛生が見える メディックメディア 他					
《授業外における学習方法》					
必要な事前学習や追加学習を行う。					
《履修に当たっての留意点》					
看護師になる上で臨床現場でしか学べない多くの知識・技術・態度を身につける機会となる。実習をより実りあるものにする 為に学内での授業・実習をしっかりと受講し、事前準備を万全にして臨むこと。					
<b>実習プログラム</b>					
実習期間 時間数	2026年8月 合計45時間				
実習の目的	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 実習目的 地域での療養を継続するために必要な支援の実際を学ぶ。</li> <li>2. 実習目標 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 地域医療連携室の役割と退院支援の実際が理解できる。</li> <li>2) 地域包括支援センターの役割と活動の実際が理解できる。</li> <li>3) 居宅介護支援事業所の役割とケアマネジメントの実際が理解できる。</li> <li>4) 地域で生活する人々を支えるためのしくみと看護の役割が理解できる。</li> </ol> </li> </ol>				
実習の内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 地域医療連携室の役割・機能</li> <li>2) 社会資源の活用、関連機関との連携・協働の実際</li> <li>3) 地域包括支援センターの役割・機能</li> <li>4) 地域の特性とそこで生活する人が抱える生活課題に対する支援の実際</li> <li>5) 居宅介護支援員の役割とケアマネジメントについて</li> <li>6) 社会資源活用の具体的な手続き、サービスの調整方法について</li> <li>7) 地域連携室、地域包括ケアセンター、居宅介護支援事業所の役割機能について</li> <li>8) 地域での生活を支えるための社会資源の種類、関係職種・機関との連携・協働の方法</li> </ol>				